

事務事業名	野犬等保護捕獲事業		所属部局	市民部	単位番号	4117						
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	環境課	課長名	小笠原良仁						
			所属担当	環境保全・自然エネルギー担当	担当者名	河野慎介						
基本政策	基本計画	IV	快速で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目	
政策	計画	20	快速生活環境の整備	事業区分	01	一般	04	01	05	050	01	
施策	体系	33	生活環境の保全		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業		<input type="checkbox"/> 補助金交付事業		<input type="checkbox"/> その他の事業		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~ 年度)	法令根拠		犬管理条例							
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)								
	野犬等(野犬及び係留されていない犬)を捕獲・保護し、安心安全な生活環境を維持する。市民からの通報により、市民が保護した野犬等の抑留を行う。保護されていない野犬等については、情報を元に現地調査を行い、捕獲器を設置し、捕獲する。犬の放し飼い、逸走犬が野犬等の発生に起因していることから、適正飼養の看板等により啓発する。			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)					
				消耗品費	69							
			修繕料	52								
						計	121					

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容	野犬等の捕獲及び逸走犬の保護をし、放し飼いの犬の所有者に徹底した指導をし、咬傷事故等を未然に防ぐ。
	27年度活動予定	野犬等の捕獲及び逸走犬の保護をし、放し飼いの犬の所有者に徹底した指導をし、咬傷事故等を未然に防ぐ。
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	野犬、逸走犬、犬の所有者、市民	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	野犬、逸走犬の減少と犬の所有者のマナーの向上を図るよう啓発事業を継続していく。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	野犬、逸走犬等による人畜への被害を減少させる。	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア野犬等の保護捕獲依頼数	件
	イ逸走犬届出件数	件
	ウ犬の苦情件数	件
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア野犬等の保護捕獲頭数	頭
	イ犬の公示件数	件
	ウ啓発件数	件
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア犬の返還頭数	頭
	イ犬の行政処分頭数	頭
	ウ指導件数	件
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア野犬等の被害件数	件

年間トータルコスト		単位	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算・実績)	26年度 (決算見込・実績)	27年度 (予算・目標)	28年度 (計画・目標)	29年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	194	315	121	425	425	425
		一般財源	千円						
事業費計(A)		千円	194	315	121	425	425	425	0
人件費	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
		延べ業務時間	時間	200	200	200	200	200	200
		人件費計(B)	千円	910	910	910	910	910	910
		(A)+(B)	千円	1,104	1,225	1,031	1,335	1,335	1,335
活動指標	ア	件	11.0	19.0	18.0	10.0	10.0	10.0	
	イ	件	43.0	59.0	53.0	30.0	30.0	30.0	
	ウ	件	47.0	36.0	35.0	30.0	30.0	30.0	
対象指標	ア	頭	78.0	81.0	103.0	60.0	60.0	60.0	
	イ	件	77.0	64.0	57.0	50.0	50.0	50.0	
	ウ	件							
成果指標	ア	頭	18.0	39.0	77.0	20.0	20.0	20.0	
	イ	頭	21.0	21.0	15.0	20.0	20.0	20.0	
	ウ	件							
上位成果指標	ア	件	47.0	36.0	35.0	20.0	20.0	20.0	

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	合併前の旧町村時代より、人畜を野犬等の被害から守るための目的で開始された。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	以前に比べ野犬数は減少しているが、飼い犬らしき犬が捨てられるケースが増えている。猟犬のような犬が山に放置されていることもある。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	逸走犬等を早急に保護し、飼い主が判明した場合は厳しく注意してもらいたいとの声を聞いた。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	狂犬病予防注射済票交付時に首輪に済票プレートを必ずつけるよう指導し、犬の飼い方のチラシの配布、看板の設置をした。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	狂犬病予防注射済票交付時に首輪に済票プレートを必ずつけるよう指導し、犬の飼い方のチラシの配布、看板の設置をした。

事務事業名	野犬等保護捕獲事業	所属部	市民部	所属課	環境課
-------	-----------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 生活環境の保全の意味から、人畜に被害を与える野犬等の捕獲は、施策に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 本事業の事業費は、犬の抑留手数料及び狂犬病対策事業の手数料でまかなっている。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 野犬等の保護捕獲は、市民全体への生活環境の保全であるため必要である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 野犬等の対応よりも飼い犬の逸走等の対応が増えている。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 狂犬病予防対策事業と類似しているため。 <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 野犬、逸走犬が多発し、人畜に被害が出る。 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 市大管理条例に基づいているため、休止・廃止は不可能である。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 特定財源のみの事業
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最小限の出動時間であるため。また、外部委託すると高額となる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 野犬等の保護捕獲は、市民全体への生活環境の保全であるので、公平公正であると思われる。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	特になし

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 特になし																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 特になし	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果 ⑫																					
	コスト削減優先度評価結果 ⑥																					